

地域で考える子どもの明日

# CAP

Child Assault Prevention

## おとな ワークショップ

子どもへの暴力は、私たちの身近なところで起きています。  
子ども達を支えるために、私たち地域のおとなは、  
何ができるでしょうか？

子どもが孤立することなく、安心して過ごせる地域を  
めざして、CAPの暴力防止策をお伝えします。  
どうぞご参加ください。

日時：2022年6月13日(月)10:00~11:30  
場所：島本町ふれあいセンター 1階 健康教育指導室  
参加員：10名(要予約) ☆子ども連れOK  
参加費：無料  
主催：しまもとCAP  
申込・問合せ：080-3763-3630(藤井 / 9:00~21:00)  
080-5714-4479(北谷 / 9:00~21:00)



キャップ

## CAPって、なあに？

### CAPの 子ども観と思想

CAPは、子どもを大人が  
守ってやらなければ何もでき  
ない弱い存在とは考えません。  
子どもにも大人と同じように、  
安心して、自信をもって、自由  
に行動する権利があり、そのよ  
うに生きる力を子ども自身が  
内に持っていると考えます。

例えば、子どもが川でおぼれ  
ない対策として「川に近寄って  
はいけない」というような回避  
策と、泳ぎ方や川の知識を教え  
る方法があります。前者は子  
どもの無力感をあおり、後者は子  
どもの力を引き出し、自信を持  
たせます。

CAPは後者を選びます。

### CAPの 歴史

CAPプログラムは1978年  
にアメリカ・オハイオ州コロン  
バス市のレイプ救援センター  
によって作られました。以後  
全米に広まり、現在は約200  
のプロジェクトが活動してい  
ます。米国のほか、世界12か  
国で実施されています。

日本には1985年にCAPト  
レーナー・森田ゆりさんによっ  
て紹介されました。

日本では1997年~2020年3  
月までに、大人が213万人以  
上、子どもが355万人以上受け  
ています。

CAPのすべての権限は、ニュー  
ジャーシー州のEIRC/ICAPが持っ  
ています。

### CAPおとな ワークショップ

子どもを支える立場にある  
大人たちのために！

安心・自信・自由の3つの  
権利を学んだ子どもたちを  
支えるために、大人もCAPを  
学ぶことが必要です。

大人のワークショップでは、

- ◎子ども虐待とは
- ◎なぜ、子どもは暴力の被害  
を受けやすいのか
- ◎どうしたら暴力を防げるの  
か
- ◎大人にできること

…などについて学びます。